

第3回家庭教育学級 ～子育て講演会“親と子の向き合う子育て”～

= H 2 3 . 9 . 1 3 =

池川保育園 山中園長先生



『子育ては楽なものではなく、悪戦苦闘の連続...！その中でピカッと光る瞬間を親として感じ取る喜び。今、子育てをしている皆さんはまだまだ成人期なので、体力的にも余裕のある時です。お日様のような力で子育てに奮闘しよう』と力強く励ましてくださいました。子どもの笑顔やしぐさ、言動に成長を感じられるだけで、頑張る力をもたらるのは、親として代えがたい喜びですね。



★ 親子ともに成長するために真剣そのもの ★
子どもたちは近くで過ごしたり遠くで遊んだりしながら、そんな雰囲気を感じ取っていることでしょう！



乳児は学習人です。親の役目は興味を与えること。周囲への興味が子どもの一番のエネルギーの基になるのです。

乳幼児期の子育ては思春期に関わってきます。乳児期は人間や社会に対する愛情や信頼感を身につけ、幼児期は自分で考え行動し、自分の欲望をコントロールする力をつける時期です。自分の力で立ち、考え判断し、我慢もして必要なことをできる人になるには、親がモデルを示さなければなりません。

子どもは人の肉声によって育つものです。テレビや携帯は相手からの発信のみ。言葉の意味を理解できない子どもが言葉をしゃべるには、言葉を通して人を大切にすることを学んだ時や、言葉を体験化した時です。そのような経験の積み重ねから、自分なりに考えたり思ったことを人に伝える方法を学びます。

親子で言葉のやりとりをする経験によって共感してもらい理解してもらえる経験が、情緒の安定感につながり、相手を信頼し気持ちを言葉や態度で伝えてくれるようになります。